

運動創造企業「株式会社リイ」が、運動不足が深刻なインドネシアにおいて
3km歩くウォーキングイベントと小学生123名にスポーツテストを実施。
～インドネシアにおける運動人口の増加とスポーツ教育の普及に取り組む～

発達に課題のあるお子さまを対象とした運動特化型児童発達支援施設「Lii sports studio」を運営する株式会社リイ（愛知県名古屋市、以下「当社」）は、運動不足が深刻なインドネシアにおいて、市民参加型のウォーキングイベントと小学生を対象としたスポーツテストを実施したことをお知らせいたします。

生活習慣病の増加という社会課題に対し、運動を通じて貢献することを目指す本取り組みでは、子どもたちの体力低下の実態を明らかにするとともに、運動機会の不足という課題が浮き彫りになりました。当社は今後も継続的なイベント開催とデータ蓄積を通じて、インドネシアのスポーツ教育の発展に貢献してまいります。

【実施概要】

①ウォーキングイベント（カーフリーデー）

- ・実施内容：参加者全員でシャボン玉を吹きながら約3kmのウォーキングを実施
- ・目的：手軽に楽しめるウォーキングを通じて運動の習慣づけを促し、健康意識の向上を図る
- ・参加者数：48名

②スポーツテスト

- ・実施内容：日本の新体カテスト種目であるシャトルラン、50m走、上体起こし、反復横跳びをインドネシアの小学5年生を対象に実施
- ・参加者数：合計123名
SD Negeri Pinang Ranti 01 Pagi校：93名、SD Negeri Pinang Ranti 07 Pagi校：30名
- ・目的：インドネシアでの運動機会創造に繋げるための子どもたちの体力の実態を把握する



【実施背景】

近年、インドネシアでは運動不足に伴う生活習慣病の増加が課題となっています。2055年まで生産年齢人口が増え続けると言われているにもかかわらず、スポーツ教育の確立が途上であり、国民全体で運動をする機会に限られています。このような状況を受け、私たちはインドネシアにおける運動人口の増加とスポーツ教育の普及を目指し、ウォーキングイベントとスポーツテストを開催しました。

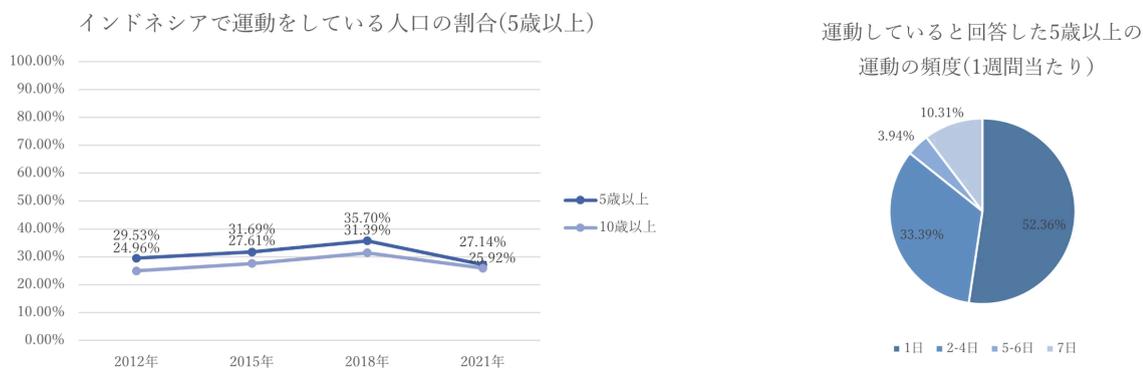
【実施して見えたこと：インドネシアの子どもの体力課題が明らかに】

今回のスポーツテストでは、インドネシアの子どもたちの体力の実態が明らかになりました。特にシャトルランの結果は、日本の小学5年生の平均値(男子61回、女子41回)に対し、インドネシアの小学生の最高記録は男子40回、女子31回と、顕著な差が見られました。

<シャトルラン結果比較>

- ・日本小学5年生平均: 男子61回、女子41回
- ・インドネシア小学生最高: 男子40回、女子31回

また、文部科学省が定める「[幼児期に身につけたい36の基本動作](#)」を獲得できていない子どもが多いことが判明しました。基本動作が身につけていないことで、真っ直ぐに走ることが難しい子どもも複数確認しています。これは、体育の授業が週に1回程度しか実施されていないことや、屋外で運動できる環境が限られていることが影響していると考えられます。



参考: インドネシア中央統計局(BPS)、「[Statistik Sosial Budaya2021\(社会文化に関する統計2021\)](#)」を元にした、インドネシア総合研究所「[インドネシア人の運動の習慣](#)」

【今後の展望】

- ・2ヶ月に1回ウォーキングイベントを行い、同時に100人以上が参加する運動イベントにする
- ・定期的にスポーツテストを実施することで、インドネシアのデータを蓄積しながらスポーツ教育の基盤を作る

【会社概要】

株式会社リィ(Lii Inc.) 愛知県名古屋市昭和区御器所通3丁目8-1御器所セントラルビル3A

代表取締役社長 廣瀬あゆみ

武庫川女子大学健康スポーツ科学部卒。ソフトバンクにて営業企画に従事した後、進学塾での事業開発や医療福祉ベンチャーでの採用広報を経験。株式会社リィを設立し、運動特化型児童発達支援施設「Lii sports studio」を中心に全国に21店舗展開中。世界80億人に運動機会を創造するため、国内だけでなく海外事業も視野に入れている。第24回JVA地域貢献特別賞を受賞。会社HP: <https://liistyle.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

担当: 小幡 TEL: 090-9624-4431 MAIL: lii_pr@liistyle.co.jp